

フィールド実習の教育効果

開催日

平成31年 **3月11日**(月)

時間

15:30~17:00(受付開始15:00)

場所

ホテル 仙台ガーデンパレス 4階・蓬莱

<http://www.hotelgp-sendai.com/access/>
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡四丁目1番5号

定員

40名(参加無料)

教育関係共同利用拠点とは？

全国各地の大学施設を大学間で共同利用するため、有効利用できる優れた施設を文部科学省が共同利用拠点として認定して整備する制度です。

ワークショップのねらい

本ワークショップは、教育関係共同利用拠点として認定されている東北大学・川渡フィールドセンターの「食と環境のつながりを学ぶ複合生態フィールド教育拠点」が主催します。講演(利用事例紹介)と質疑応答を中心とした意見交換によって、「フィールド実習の教育効果」について理解を深め、より教育効果の高いフィールド実習の実施と共同利用拠点の活動を目指そうとするものです。

プログラム

15:30 開会挨拶

東北大学大学院農学研究科長 牧野 周

15:35 「食と環境のつながりを学ぶ複合生態フィールド教育拠点」の活動

東北大学大学院農学研究科 准教授 陶山佳久

講演:フィールド実習利用の事例紹介

コーディネーター

東北大学大学院農学研究科 准教授 陶山佳久

15:45 レディメイド型プログラム「フィールド環境学」の利用(新潟食料農業大学の事例)

新潟食料農業大学 食料産業学部 教授 伊藤豊彰氏

16:00 レディメイド型プログラム「フィールド環境学」の利用(関東学院大学の事例)

関東学院大学 理工学部 教授 佐藤幸也氏

16:15 オーダーメイド型プログラム「森林生態学に関する実習」の利用

日本大学 文理学部 准教授 井上みずき氏

16:30 オーダーメイド型プログラム「食と環境に関する実習」の利用

仙台青葉学院短期大学 栄養学科 教授 佐藤玲子氏

16:40 ギャザリング型プログラム「復興農学フィールド実習」の利用

東北大学大学院農学研究科 助教 大村道明氏

16:55 閉会挨拶

東北大学大学院農学研究科 附属複合生態フィールド教育研究センター長 尾定 誠

主催:東北大学大学院農学研究科 附属複合生態フィールド教育研究センター(川渡フィールドセンター)
食と環境のつながりを学ぶ複合生態フィールド教育拠点 (<http://www.agri.tohoku.ac.jp/noujou/index.html>)

問合せ:東北大学大学院農学研究科 附属複合生態フィールド教育研究センター 複合陸域生産システム部 共同利用担当
〒989-6711宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田232-3 TEL:0229-84-7311 E-mail: kyodou-riyou@grp.tohoku.ac.jp